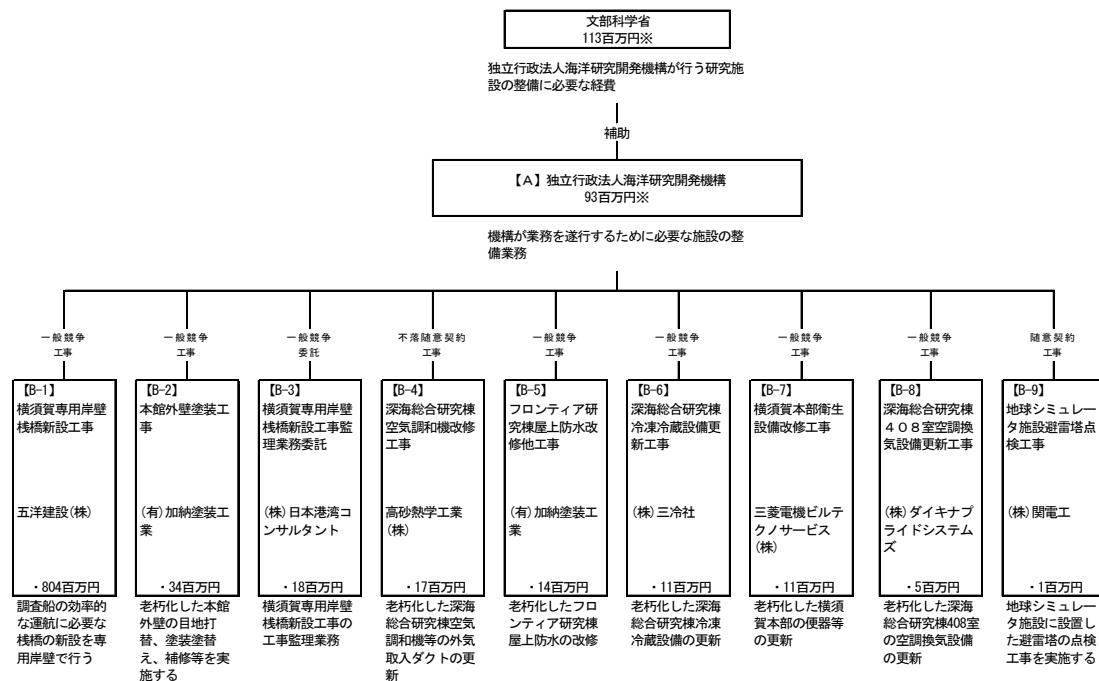


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人海洋研究開発機構施設整備に必要な経費		担当部局	研究開発局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～24年度		担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 井上 諭一	
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重點化 X-7 海洋分野の研究開発の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人海洋研究開発機構法第17条		関係する計画、通知等	海洋基本計画(平成20年3月、平成25年4月閣議決定)等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより、海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	機関の業務を遂行するために必要な施設の整備業務として、海洋に関する研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うため、施設の整備や老朽化対策を実施する。(補助率:定額)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	当初予算	106	117	113	0	-	
	補正予算	0	0	1,944	0		
	繰越し等	0	0	△ 1944	1,944		
	計	106	117	113	1,944	-	
	執行額	106	117	113			
執行率 (%)	100.00%	100.00%	100.00%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	(独)海洋研究開発機構の事業を実施するうえで必要な施設、設備を整備する		成果実績	機構の実施する海洋に関する基盤的研究開発等を実施するうえで必要となる施設、設備を整備。	機構の実施する海洋に関する基盤的研究開発等を実施するうえで必要となる施設、設備を整備。	機構の実施する海洋に関する基盤的研究開発等を実施するうえで必要となる施設、設備を整備。	事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす
	達成度						
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	施設設備の整備 実施件数		活動実績 (当初見込み)	件	6 (-)	6 (-)	9 (-)
単位当たりコスト	12.6 (百万円/件)		算出根拠	平成24年度執行額(113百万円)/施設整備の整備実施件数(9件)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	計	0百万円	-				

事業所管部局による点検												
	項目		評価	評価に関する説明								
国 必 要 投 入 の 性 能	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		<input type="radio"/>	海洋基本法において、国は海洋に関する施策を総合的に実施することとされており、海洋に関する科学的知見の充実についても、その目的のひとつとされている。本事業は海洋に関する基礎的な研究開発を進めるにあたって必要なものであり、広く国民のニーズがありかつ国が実施すべきである。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		<input type="radio"/>									
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		<input type="radio"/>									
事業 の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		<input type="radio"/>									
	受益者との負担関係は妥当であるか。		<input type="radio"/>	・平成22年4月に「随意契約等見直し計画」を策定し、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努めている。								
	単位当たりコストの水準は妥当か。		<input type="radio"/>									
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		<input type="radio"/>	・施設の整備は、老朽化の度合いに応じて必要性の高いものから計画的に行っており、費目・使途は必要なものに限定されている。								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		<input type="radio"/>									
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—									
事業 の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低成本で実施できているか。		<input type="radio"/>	中期計画及び年度計画において目標を設定し、達成度については独立行政法人評価委員会による評価を毎年度受けており、着実に成果をあげている。								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		<input type="radio"/>									
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		<input type="radio"/>									
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—									
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名									
点検結果	・「随意契約等見直し計画」に基づき、より一層の契約の競争性、公平性、透明性の確保に取り組んでおり、競争性の確保のため調達情報メールマガジンの配信等の取組を実施し、競争性のある契約の割合は平成23年度の73.1%から平成24年度の81.2%となった。随意契約については担当課に設置した審査チームによる審査を実施し、契約監視委員長による事前意見聴取を実施している。また、概算金額が3,000万円以上の契約については、「契約審査委員会」において、随意契約の妥当性について事前に審査を行い、さらに、契約締結後には、随意契約限度額以上の契約について、「契約監視委員会」による事後評価を実施している。調達コスト削減のために、外部有識者からなる「調達コスト検討会」を設置し、コスト削減に向けた各種提案について、実現に向けた取り組みを実施しているほか、研究8法人による研究納入実績データベースの運用や予め通常価格より安価な単価で契約を締結したNET調達システムを導入するなど、調達の効率化とコスト削減が図られている。											
外部有識者の所見												
外部有識者による点検対象外												
行政事業レビュー推進チームの所見												
	所期の目標を達成したことから、平成24年度をもって廃止している。											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況												
備考												
海洋基本計画 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/kihonkeikaku/080318kihonkeikaku.pdf												
関連する過去のレビューシートの事業番号												
平成22年	0321	平成23年	0302	平成24年	317							

※平成24年度実績を記入。



※国の支出は概算値であり、法人において契約差額が生じたため、
文部科学省における執行額と法人における執行額は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行つ
ているかについて
補足する)
(単位：百万
円)

A.(独)海洋研究開発機構			B-6.(株)三冷社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	横須賀専用岸壁桟橋新設工事、老朽化対策工事等	113	工事	深海総合研究棟冷凍冷蔵設備更新工事	11
計		113	計		11
B-1.五洋建設(株)			B-7.三菱電機ビルテクノサービス(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	横須賀専用岸壁桟橋新設工事	804	工事	横須賀本部衛生設備改修工事	11
計		804	計		11
B-2.(有)加納塗装工業			B-8.(株)ダイキンアプライドシステムズ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	本館外壁塗装工事	34	工事	深海総合研究棟408室空調換気設備更新工事	5
計		34	計		5
B-3.(株)日本港湾コンサルタント			B-9.(株)関電工		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	横須賀専用岸壁桟橋新設工事管理業務委託	18	工事	地球シミュレータ施設避雷塔点検工事	1
計		18	計		1
B-4.高砂熱学工業(株)横浜支店			J.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	深海総合研究等空気調和機改修工事	17			
計		17	計		0
B-5.(有)加納塗装工業			K.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	フロンティア研究棟屋上防水改修工事	14			
計		14	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	五洋建設(株)	調査船の効率的な運航に必要な桟橋の新設を専用岸壁で行う	804	3	※
2	(有)加納塗装工業	老朽化した本館外壁の目地打替、塗装塗替え、補修等を実施する	34	15	※
3	(株)日本港湾コンサルタント	横須賀専用岸壁桟橋新設工事の工事監理業務	18	3	※
4	高砂熱学工業(株)	老朽化した深海総合研究棟空気調和機等の外気取入ダクトの更新	17	不落隨意契約	-
5	(有)加納塗装工業	老朽化したフロンティア研究棟屋上防水の改修	14	4	※
6	(株)三冷社	老朽化した深海総合研究棟冷凍冷蔵設備の更新	11	4	※
7	三菱電機ビルテクノサービス(株)	老朽化した横須賀本部の便器等の更新	11	4	※
8	(株)ダイキンアプライドシステムズ	老朽化した深海総合研究棟408室の空調換気設備の更新	5	3	※
9	(株)関電工	地球シミュレータ施設に設置した避雷塔の点検工事を実施する	1	隨意契約	-
10					

※同種の他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため非公開としている。